地域会館設計案についての地元説明会【三尻】

1 場所

三尻公民館 1階ホール

2 日時

令和6年6月1日（土）9時30分～10時46分

3 参加者数

30名

4 主な質疑及び回答

※【意見】は、参加者からの意見、質問、要望等。【回答】は市側の発言

《参加者1》

【意見】三尻公民館をスポーツ吹き矢で使わせてもらっている。地区の80歳代くらいを中心に10数名で活動している。吹き矢が上手になってきて、10mの距離が必要だが、的台を置いて10m離れてその後ろに立つので、最低13mの距離が必要であり、ホールは13mの距離を確保していただきたいというお願いである。実は、籠原公民館にも吹き矢の仲間がいた。上達すると距離が欲しくなってしまう4年くらい前に解散した。距離が確保できないと他の場所を使うことになるのか。代替の場所を使うことになるのか。

【回答】スポーツ吹き矢で13m必要とのことであるが、今の案では11mであり、200㎡を上限とする設計案では、ホールで縦横どちらでも13mとるのは難しい。対角線を使うというのもあるが、広いスペースを使う活動では、小中学校の体育館を学校開放で使えるのではないかと思うが、御相談されたことは？

【意見】使える時間帯が問題である。放課後だとか、土・日だとかに限られる。80歳代の方が学校に集まると、安全上の問題や、土・日は若い方の利用もあるので悩ましい。

【回答】設計の段階で相談をしてみるが、吹き矢の皆さんだけの施設ではなく、色々な目的で利用される地域の皆さんの施設なので、吹き矢の皆さんには物足りない施設かもしれないが、その辺りを考慮していただけるとありがたい。

《参加者2》

【意見】三尻公民館を「会館」と名称を変更する意味は何か。片方の地域は会館、片方の地域は公民館と名前が混在する。「中央公民館」は、「中央会館」となるの

か。

【回答】公民館施設を地域会館とすることについては、今までは組織も公民館、施設も公民館、地域の皆さんの活動自体も公民館で、あえて区別しないで都合のよい面もあるが、公金と地元のお金との区別など課題もある。これからは、組織を公民館、施設は大規模なものを生涯活動センター、小規模なものを地域会館と呼んで区別することを考えており、地域の活動も市との役割分担の視点から見直しを行っているので、今後できるだけ早く、全体像を示せるようにしたい。

既存の建物について、公民館と呼んでいるものを全て会館と呼ぶことにすると、看板を付け替えるだけでもお金がかかる。地域会館に建て替えるまでの既存公民館施設については、当面公民館という名称を引き継いでいくことを考えている。組織と施設を区別するために条例や規則の上では、組織を指す場合は熊谷市〇〇公民館、施設を指す場合は熊谷市立〇〇公民館と区別することを考えているが、地域会館への建て替えがなされるまでは、既存施設について公民館という名称を引き継いでいくことを考えている（説明会後の補足：組織と施設の名称が同一となる事例は、妻沼中央公民館のみであると思われ、実際上の区別で困ることはないと思込んでいる）。

公民館の組織については、公民館運営審議会に中央公民館が諮問して、今年2月に答申を頂いた。中央公民館を除いて、地域公民館が市内に34館ある。それを7館に再編して、区域を広げてサークルのメンバーを集めやすくしたり、減免を受けやすくしたり、一つの公民館の区域に複数の施設がある形になるので、その中から選ぶ選択肢が広がったりというメリットがあるだろうという答申を頂いた。審議会の答申を尊重して検討していくということで、今まさに検討を進めている。公民館再編の中で広域化された7つの組織を公民館、施設を生涯活動センターや地域会館とし、一部の施設では公民館という名前が残るが、区別をしていく形で全体像を構想している。

《参加者3》

【意見】①公民館活動も自治会活動も推進母体は高齢者である。高齢者がクラブ活動の中でいなくなると建物の利用がなくなってしまう。高齢者が使っている各公民館などの利用の中身はどのように設計に配慮されているのか。吹矢の方の意見があったが、そういった団体は大事である。団体は一度壊れると、二度と登録ができなくなる。会員が何人か残ったとしても年を取っていくから活動がだんだんできなくなる。先ほどの吹矢の方の意見には賛成で、2～3m増やすだけで吹矢の団体が使えるようになる。その辺の配慮は必要であると考えている。1団体欠けるということは、使われない可能性もある。各地域に集会所等あるがほとんど使われていない。使う団体がいない。そういったものが地域の中にあるのだ

から、使えるところは、どこの団体がどのように使えるのかしっかり調査した後で最終的な設計、結論を出してもらいたい。②床については、木造なのか。床に寝転んで使うクラブもある。③新しい建物が建つ空き地について、大きなケヤキが立っているが切らないと建てられないだろう。緑化の問題と意匠の問題も、今の段階で分かることを教えて欲しい。

【回答】①できるだけ多くの方に使いやすい規模を、という点について、市の基本的な考えとしては、生涯活動センターと地域会館で役割分担してサービスを提供するというので、比較的広いスペースとか、より高度な機能は生涯活動センターで担当して、地元密着で必要最低限の利用に応じるのは地域会館というイメージを持っている。西部地区は、最寄りの生涯活動センターの見通しがはっきりしておらず申し訳ないが、現在整備を進めている（仮称）第2中央生涯活動センターは、石原地域優先の施設ではなく、市民皆さんが使える施設であり、距離の問題はあるが、【くまびあ】だとか第2中央生涯活動センターはどなたでも使える施設なので、その利用も考慮していただけるとありがたい。

②床については、基本的に木造を考えている。身体を動かす活動や、大麻生の子育て支援拠点のように子供がハイハイして使う場合もあるということで、衛生面の問題だとか、現状の利用状況も考慮して設計を進めていく予定である。③外構の部分、緑化や意匠については、建物の設計と併せてこれからやっていく。建物の設計と、古い公民館の解体の設計、外構の設計を一体でやっていくので、全体で整合性のとれた設計案になると考えている。緑化やデザイン、意匠も、検討後にお示しできればと考えている。

【意見】今の段階では分からないということか。

【回答】緑化については、県条例の関係も考慮して進めていかなければならない。その条例が適用されるかの問題もあるが、緑化については検討をしていく。

【意見】周りの意匠はどうか。まだ決まっていないのか。

【回答】外構については、意匠も含めてまだ決まっていない。

《参加者4》

【意見】ハードウェア・建物の話ばかりで、ソフトウェアの説明がない。ここの施設の名称は三尻会館になるが、他には公民館の名称を残すという。方針も決まらない中で建物の名称を変えて、我々は混乱で訳が分からなくなってしまう。お願いとすると、建物は新しくして、少なくとも現在の機能は100%残してもらいたい。我々のお世話をしてくれる事務の方も残してもらいたい。事務の方がいなくなったら中央公民館で全部やってもらえるのかといたらそんなことはないと思う。ここを地域会館にしないで公民館にして、他の公民館も含めて、熊谷市の公民館はこういう方針でいきますということが決まったところで、地域会

館や生涯活動センターにしましょうと熊谷市全体で一気に変えていった方が、我々には分かりやすいと思う。

【回答】組織については審議会の答申を受けて検討中ということで、内部の方針が決まっていないが、基本的には、公民館を広域化して、先ほどお話ししたようなメリットを享受することを考えている。三尻地区については西部生涯活動センターがすぐにできない点も考慮に入れて検討している。(仮称)第2中央生涯活動センターを整備中の中心市街地西寄りの地域や、【くまびあ】がある旧熊谷市の北部地域に比較すると、三尻を含むこちら西部地区などでは、地元により多くの機能を残す要請が強いというのは認識している。その点を十分考慮して職員の配置についても検討中である。

《参加者5》

【意見】埼玉県で川口市に次いで熊谷市は2番目に公民館の数が多かった。市街化区域で180人の人口で1つの公民館、館があるところとないところがある。ずっと解決しないままである。20年ほど前に、熊谷市の社会教育の在り方、公民館の在り方の小冊子ができている。公民館を重層化して8つの公民館をつくと書いてあるが、それから進歩していないと感じる。20年ほど前に市議会議員が、公民館の在り方についてどのような質問をしているか議事録を閲覧したことがあるが、「中央公民館の駐車場が狭い」とか、そんな質問ばかり。残念ながら、将来的な公民館の在り方を質問していた市議会議員はいなかった。先ほどの会館と公民館の話はごちゃ混ぜになっていて、一本の筋が通っていない気がする。現在、ここの公民館に館長と主事が2人いて、他の公民館にもいて、そのような方をどうするのか。

【回答】20年ほど前に、公民館を重層化し8つの公民館にするということは、当時の計画ではそのようなものがあつたかもしれないが、現在は、熊谷市公共施設等総合管理計画を策定し、それに基づいて、今後、生涯活動センターと地域会館の整備を進めることとしている。分類では市民文化施設と呼んでいるが、公民館以外でもコミュニティセンターや農業振興施設(集会施設)など、それら全部を、将来的には大きい施設としては生涯活動センター、小さい地元密着の施設としては地域会館へと、全体として再編成していく方針で進めている。施設マネジメントの計画として公共施設等総合管理計画、個別施設計画があるが、市ホームページにも掲載しているので御覧いただけるとありがたい。それにあわせて公民館の組織再編も、公民館運営審議会の答申を受けて現在検討中であり、今後、全体像を示していきたいと考えている。

《参加者6》

【意見】建設場所は、小学校の諸々の送迎駐車場として使用している。地域会館建設工期中は使えないと思うが、公民館の駐車場を代替として使わせてもらえるのか。

【回答】工期について詳細は決まっていないが、令和7年度の夏から秋にかけてのイメージである。三尻小のプールは、校外方式ということで民間のプールで水泳の授業を行っているため不要となっており、解体工事を予定している。解体すると広い跡地ができ、駐車場として使うことを計画している。現在、建設予定地を駐車場として使っている方には、そちらを使っただけ計画であるので、駐車場は確保できるようにする予定である。

【意見】プールの解体について教えてもらいたい。

【回答】教育委員会教育総務課で予定している。解体の設計と工事をあわせて、今年度から来年度にかけて、令和7年の6月には、除却が終わって更地になり、そこに新駐車場を確保するイメージで進めている。

【意見】順番として、プールを解体し更地にして、駐車場を用意してから、建築工事に入るとのことか。

【回答】そのように順番を考えて進める予定である。

《参加者7》

【意見】当初、AタイプとBタイプがあり、Aタイプに決まったようだが、Aタイプには職員のスペースがない。市は、公民館の職員や公民館の在り方を、どのように考えているのか。活動・交流スペースを市民に貸し出し、職員の事務室を造った場合は「ああだこうだ」というが、一体公民館をどう思っているのか。これから公民館をどうしていこうと考えているのか。建物にしても200㎡以下に一律に設定している。校区によっては活動が鈍い校区もある。活動している校区にはそれに対応した大きさ、そうでない校区にはそれなりの大きさ等、ある程度弾力的に大きさのパターンを広げていただきたい。

【回答】まず、公民館組織の見通しは、公民館運営審議会答申の中でも、利用者には高齢者が多い、コロナの影響もあるが、サークルのメンバーが減って今まで減免対象であったものが対象外になってしまったとか、そのような理由で活動団体が減少しているようだ。もう一度公民館活動を活性化するためにはどうしたらよいかという視点から、審議会で審議し、狭い区域では人を集めるのが大変だから広くして、例えば、隣の大麻生や籠原から入った方もサークルのメンバーにして、メンバーを集めやすくするとか、減免を受けやすくするとか、広域化した区域の中に複数の施設があって、利用目的によって選んでいただいて、そのようなメリットなども用意することで公民館活動を活性化することはどうだろうかというのが審議会の答申で、それを踏まえて7つの公民館への広域化が検討

課題となっている。狭い公民館の区域だけでは立ち行かない活動も広域化することで人数が集めやすくなり、会の存続も図りやすくなるのではないか、そうした視点で出された答申で、建物のことだけを考えている訳ではなくて、どうしたら公民館の活動を活性化させることができるかという視点での公民館再編の検討となっている。

面積は200㎡を上限としているが、都市計画法や建築基準法上でのメリットがある。コストが下げられるとか、また、こちらは市街化調整区域に該当し、市街化調整区域は開発をしないことが大前提だが、造れるように検討し、200㎡以下の施設であると造りやすいため、市の一律の基準として考えた。200㎡で足りない部分は、将来的には生涯活動センターが整備されて、それとの役割分担で、都合の良い方を選んで使っていただけるような環境を将来的には整備したい。それまでの間、御不便をかけることもあるので、職員の配置等考慮していきたい。

【意見】地域会館には、活性化させるのであれば、それなりに事務室を置き、それなりの数の職員がいてしかるべきである。正職員か嘱託なのか分からないが、しっかりと予算組をして職員を置いてほしい。

【回答】内部で検討中である。現在は、嘱託職員を配置している。7つの公民館再編の中では正規職員を置くかは検討課題である。また、事務室の関係では、一度、事務室や活動・交流スペースにしたら変えないということではなく、当面は事務室を置いて、活動・交流スペースの方が良い、活動・交流スペースでのフリーアドレス方式でも職員も仕事ができるということであれば、途中で工事をして変える、ということもできると考えている。

【意見】自治会活動においても、公民館と連携を取りながらやっていく中で、公民館に活躍してもらっているが、市の取組が弱いために、公民館の方々なかなか能力を発揮できていない。自治会に移行しなければという気持ちにもなる。むしろ地域会館を活性化するならば、もっと公民館の方々を応援するような形にしないと、地域の活性化につながらない。十分に、早急に検討してもらいたい。

【回答】十分に検討する。

《参加者8》

【意見】令和8年に公民館が地域会館になった時に、ソフトである公民館組織はどうなるのか。

【回答】見通しとしては、公民館再編が先になる。組織や人の配置が全部明らかになった状態で、設計案については、説明会・意見交換会で色々な意見を頂いて、それを反映させた形で案を作る。秋頃に、公民館再編の内容・見通しが判明した状況で、より詳細な設計案を、再度地元の皆さんにお示ししたい。他の地域では、

公民館運営協議会に地域の代表が集まっているが、三尻については公民館運営協議会がなく、役員会に諮るのか、校区連絡会に諮るのか決まっていないが、再度地域の方の意見を聞きたいと考えている。

【意見】建物ができる前にソフトが先に進んで、お互い意見交換をしながら、新しい建物をどうやって使いましょうかということ、新しい組織の中で考えていくということか。

【回答】同時進行でいく。来年の建て替え前に、組織の方をはっきりさせて、皆さんの御意見をいただければと考えている。

【意見】中央公民館で音頭をとってもらって、館長の処遇や主事をどうするかについては特段ないが、個々のクラブ活動、例えば吹矢の活動をここでやるからに始まって、ここで問題がないかなどは、個々のクラブ活動のメンバーで行っていくのか。

【回答】サークル同士の統合などについては、面倒をみるのは難しい。個々でやっていただけるとありがたい。

《参加者 9》

【意見】検討事項が多いようだ。基本的なこと、公民館組織自体もどうなるか分からない中で、来年工事が始まって、令和8年に完成である。無理ではないかと思う。既に令和6年6月なのに、この時点で基本的なことが決まっていないのに令和7年に工事が始まり、令和8年4月から使うという。公民館の方針、基本的なことが決まらないと、いくら工事を進めてももう一回という訳にはいかない。よく考えてから進めた方がよいのではないか。

【回答】工事は来年度だが、施設の規模は小さく、その分工期は短くなるのではないかと考えている。工事というよりは設計が仕上がるまでには、組織など前提の部分の見通しも示されて、固めてしてしまう前にもう一度地元の皆さんの意見を聞くことを考えている。拙速に見えてしまうかもしれないが、地元の皆さんの意見を聞いて丁寧に進めるように、市長からも言われている。

《参加者 10》

【意見】地域事業である例えば納涼祭、敬老会、体育祭などは公民館中心でやってきた。三尻公民館から三尻会館に変わり、館長や主事がいなくなるということだが、それに伴って、今までやってきた行事は、引き続いて公民館中心でできなくなる。自治会に色々事業をやってもらえるように、協力していただけるようお願いしているが、あと2年弱で全部お願いできるのかどうか不安に感じている。先ほど、今年の秋ごろ組織面の内容が決まって、説明してもらえるとのことだったが、実際にその時点から地域会館になった後をどうしていくか協議して

いくことになると思うので、時期をはっきりと決めて早めに説明してもらいたいと思っている。

【回答】地域館長、地域主事がいなくなるだろうという話があったが、まだ検討中である。以前は、館長や主事の方は職員だった。令和2年に地方公務員法の改正があり、以前は非常勤の特別職という扱いで職員だったが、館長には非常勤の特別職ではなくて一般職を置かなければならなくなり、その時点で、館長や主事の皆さんの処遇をどうするか検討して、現在は、有償ボランティアとして委嘱している。一方で嘱託職員は市の職員である。市と地域の役割分担の中では、嘱託職員は市の側、地域館長や地域主事は地域の側と考えている。地域の側の中核である地域館長、地域主事の皆さんの処遇については、現在検討中である。地域の行事をやっていく上でどのような形が良いのか、地域の状況も考慮して検討している。できるだけ早い段階で、全体像が見える形で示したい。

以 上